

彙 報

1989年度倫理学講義題目

〔講義〕

助教授 西谷裕作 「倫理学概論」

〔研究〕

教養部教授 磯江景孜 「カントとハーマン」

教養部助教授 有福孝岳 「自己, 魂, 身体性の問題」

講師 塚崎智 「社会契約論の問題」

講師 稲垣良典 「中世の倫理思想」

〔演習Ⅰ〕

助教授 西谷裕作 「Descartes: Les Méditations Métaphysiques」

教養部教授 竹市明弘 「現象学・解釈学基本文献演習」

講師 深谷昭三 「M. Scheler: Wesen und Formen der Sympathie」

〔演習Ⅱ〕

助教授 西谷裕作 「倫理学の諸問題」

〔講読〕

助教授 西谷裕作 「M. Picard: Die Flucht vor Gott」

講師 大町公 「S. Weil: L'enracinement」

趣 旨

1. 実践哲学を再び哲学の主要テーマとして取り上げようという動向が近年顕著になりつつある。かかる思潮を鑑み、本会はここに『実践哲学研究』を発行する。
2. 実践哲学研究といってもその対象とする領域は広大多岐ではあるが、われわれ（京都大学倫理学科大学院生）は自らの研究を公けにすることによってそれぞれの領域から公正なる批判と判断をおおぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を図ることを目的とする。

後 記

1. 本誌もここに第12号刊行をむかえました。これもひとえに皆様方の貴重な御意見、御批評と暖かい御援助の賜物と感謝いたしております。今後ともよろしく御指導の程お願いいたします。
1. 「倫理学教室入庫図書」の一覧は、今号より掲載を取り止めました。御希望の方は、一覧表のコピーをお送りしますので、事務局までお知らせ下さい。
1. 第12号発表論文の合評会を下記の要領で催しますので、御参加いただければ幸いです。

日 時 1990年2月4日（日）午後1時

場 所 楽友会館

1. 当会の賛助会員制度に、多数の方々の御協力をいただき、誠にありがとうございました。さらに多くの方々に賛助会員になっていただけますよう、なお一層努力いたす所存でございますので、御支援の程よろしくお願いいたします。賛助会員の皆様には会誌一部を送らせていただきます。なお賛助会員費は年一口千円でお願いいたします。

発行 実践哲学研究会

京都市左京区吉田本町

京都大学文学部倫理学研究室内

郵便振替 京都 2—27560

発行日

1989年11月1日

事務局

京都大学大学院文学研究科哲学（倫理学）

大学院学生共同研究室

代表

西谷裕作

実践哲学研究

第12号

-
- 形相と言葉……………古田裕清(1)
——ハイデガーの *formale Anzeige* についての一考察——
- 美感的判断力の原理に関する
困惑について……………八幡英幸(19)
- 個体と経験……………渡辺啓真(39)
——ホワイトヘッドの「改変された主観主義」——
- 彙報……………(54)
-

京都大学文学部倫理学研究室内
実践哲学研究会

实践哲学研究

第 12 号

STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE (DAS JISSENTETSUGAKU - KENKYU)

Nr. 12 November 1989

INHALT

Form und Sprache

—Eine kritische Untersuchung des Heideggers
Begriffs »formale Anzeige«—Hirokiyo Furuta(1)

Von der Verlegenheit wegen des Prinzips

der ästhetischen Urteilskraft.....Hideyuki Yahata(19)

Individual and Experience

—Whitehead's 'Reformed Subjectivism'—
.....Hiromasa Watanabe(39)

Verschiedenes(54)

VERÖFFENTLICHT UND HERAUSGEGEBEN VON
DER GESELLSCHAFT FÜR STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
AN DER UNIVERSITÄT KYOTO
(KYOTO DAIGAKU JISSENTETSUGAKU - KENKYU - KAI)
KYOTO JAPAN